

試験区分	行政（デジタル）
------	----------

県民一人ひとりにデジタル化の利便性を享受していただくためには、デジタルデバイド対策を通じて、デジタル機器に不慣れな方々であってもスマートフォンを活用できるようにすることが重要です。例えば、スマートフォンの使い方に関する講習会の開催、相談体制の整備、教材の作成といった取り組みが考えられます。

一方、県単独であらゆるデジタルデバイド対策を行うことは現実的ではありません。国や事業者における既存の取り組み、市町村との連携、自助共助の考え方等を考慮しながら、県として効率的かつ持続的な対策を行うことが重要です。

そこで、本県として今後どのようなデジタルデバイド対策を行うべきか、取り組みの対象（例：〇〇のような地域にお住まいの高齢者）や目指すべきスマートフォン活用スキル水準（例：〇〇のアプリを利用できる状態）を明確にしつつ、あなたの考えを述べてください。

試験区分	土	木
------	---	---

高度成長期以降、高速道路をはじめ規格の高い幹線道路や空港、港湾、ダム等、その整備効果が広域かつ多くの住民に及ぶ大規模な社会基盤施設が多く整備されてきました。

現在、こうした社会基盤施設は、計画的な修繕や老朽化対策による維持管理に多大な経費が必要となっています。

一方、社会基盤整備が一定の水準に達した今日では、住民や地域の新たな整備ニーズは、効果がより狭い地域に限定的、かつ多様化、細分化してきており、限られた予算のなかで新たな社会基盤整備に着手する際には、その優先度や妥当性などの判断過程について、客観的な説明が求められています。

そこで、様々に寄せられる新たな社会基盤の整備ニーズから事業を選択する手法について、「公平性」や「透明性」を踏まえながら、あなたの考えを述べてください。

試験区分	林業
------	----

森林は、木材をはじめとする林産物の供給、水源のかん養、国土の保全、地球温暖化の防止等の多面的機能を有しており、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、温室効果ガスである大気中の二酸化炭素の吸収源として、大きな役割を果たすことが期待されています。

こうした中、本県の森林資源は、人工林のうち45年生を超える森林が約9割となり本格的な利用期を迎えています。高齡林の割合が増え、二酸化炭素吸収量は減少傾向にあります。

また、皆伐後の再造林率は4割程度にとどまっており、伐って・使って・植えて・育てるといふ森林資源の循環利用が進んでいない状況です。

そこで、本県の豊富な森林資源を活用して循環型林業を確立させ、二酸化炭素の吸収・固定（貯蔵）機能を強化していくためには、どのように取り組むべきか、あなたの考えを述べてください。

試験区分	電気
------	----

世界規模で異常気象が発生し、大規模な自然災害が増加するなど、気候変動への対応について、国を挙げて取り組んでいる中、本県においても国の指標である2030年度の温室効果ガス46%削減、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて『第Ⅱ期高知県脱炭素社会推進アクションプラン』を作成し、さらなる取り組みを進めているところです。

そこで、省エネルギー化に向けた取り組みや、豊富な自然資源を生かした再生可能エネルギーの導入促進への取り組みについて、あなたの考えを述べてください。